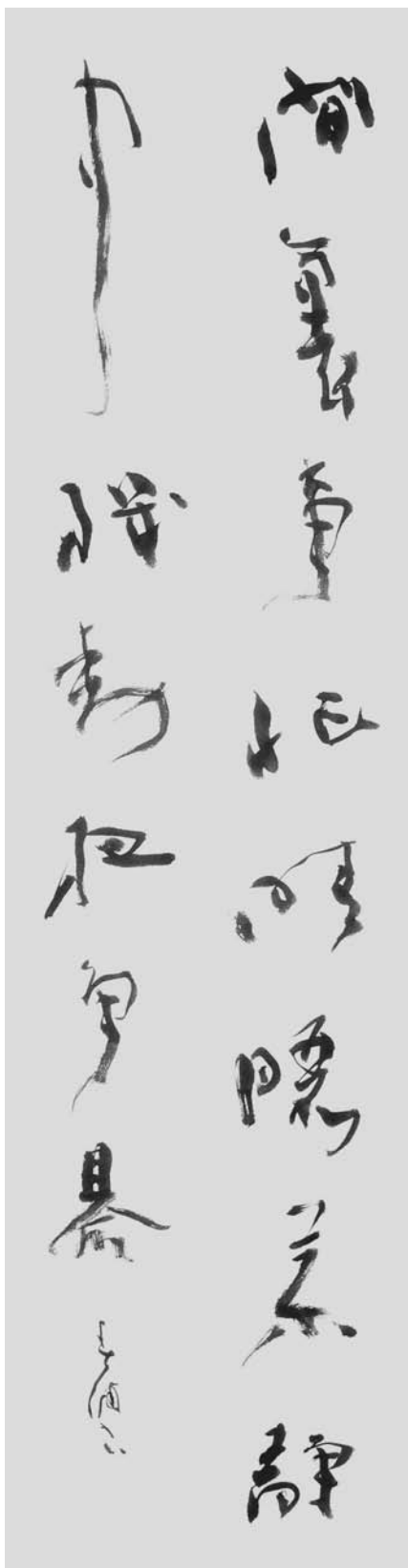


11月25日正午必着

明石春浦先生書



問裏事忙晴曬藥。靜中機動夜爭碁（范石湖）  
 藥を煮、碁を圍む。

明石幸子書



問庭百花發。餘香入此堂。相對共無語。春夜夜將央。  
 （良寛）

11月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

海くれて鴨の聲ほのかに白し(芭蕉)



菅井松雲先生書

天清曉露涼 (薩都刺)

天清く 曉露涼し

天はすみわたり 曉の露は涼しげ

鶴驚秋露三更月 (金章宗)

鶴は驚く 秋露 三更の月  
虎は嘯く 疎林 万壑の風

鶴は 夜ふけの月が秋の露に光るのに驚き  
虎は 谷々の林に吹く風に嘯く

別鄭蟻 (郎士元)

鄭蟻に別る 郎士元

暮蟬不可聽 落葉豈堪聞  
共是悲秋客 那知此路分  
荒城背流水 遠雁入寒雲  
陶令門前菊 餘花可贈君

暮蟬 聴く可からず 落葉 豈に聞くに堪えんや  
共は是れ 秋を悲しむ客 那ぞ知らん 此の路に分るるを  
荒城 流水に背き 遠雁 寒雲に入る  
陶令 門前の菊 余花 君に贈る可し

ひる時雨はれゆくなべに現はるる 向ひの山の紅葉あかるし (松村 英一)

半紙部規定課題A

11月25日正午必着

王 孫 耐  
薄 游

※作品には必ず落款を入れてください。

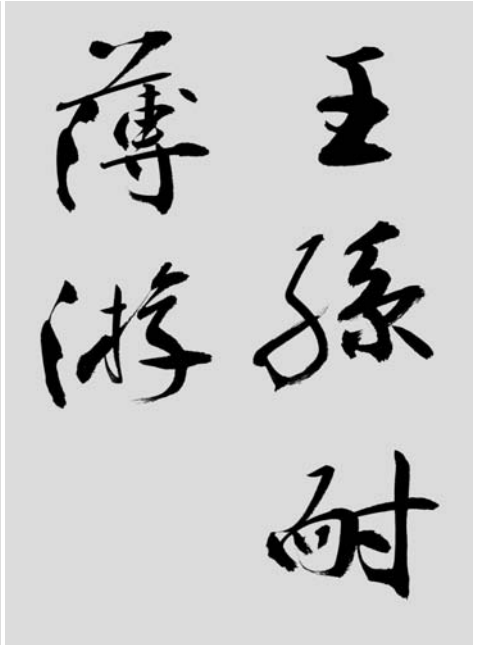
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

11月25日正午必着

行書

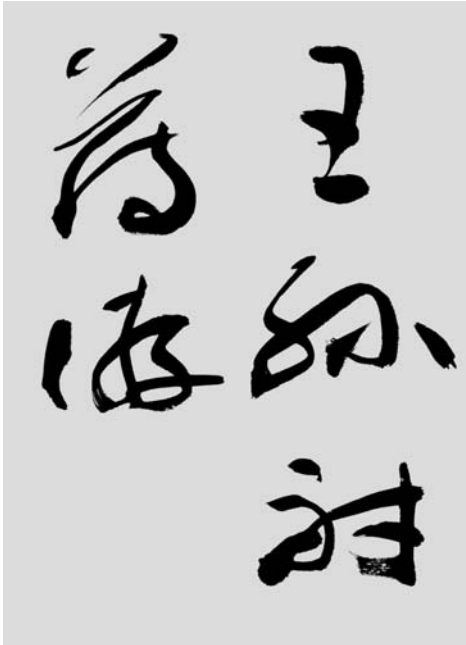


隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る  
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ  
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる  
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送王牧往吉州 李嘉祐

諷史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔に諷するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

本垂淚。傷根流血。火入空心。膏流斷節。橫洞口而歛臥。頓出要而半折。  
 木魅賜睽。山精妖孽。况復風雲不感。羈旅無歸。未能採葛。還成食薇。  
 沈淪窮巷。無沒荆扉。既傷搖落。彌嗟變衰。淮  
 半折文衰者合體俱碎理正  
 者中心直裂戴瘵銜瘤藏穿  
 抱穴木魅賜睽山精妖孽况復  
 風雲不感羈旅無歸未能採  
 嘗還戈食薇沈淪窮巷無沒  
 荆扉既傷搖落彌嗟變衰淮

本垂淚。傷根流血。火入空心。膏流斷節。橫洞口而歛臥。頓出要而半折。文衰者合體俱碎。理正者中心直裂。戴瘵銜瘤。藏穿抱穴。  
 木魅賜睽。山精妖孽。况復風雲不感。羈旅無歸。未能採葛。還成食薇。沈淪窮巷。無沒荆扉。既傷搖落。彌嗟變衰。淮  
 本(を抜かれて)涙を垂れ、根を痛めて血を流す。火は空心に入り、膏は断節に流る。洞口に横たわりて歛に臥し、山腰に頓れて半折す。  
 文の斜めなるは合體、俱に碎け、理の正しきは中心より直裂す。瘵を戴き瘤を銜み、穿を藏し穴を抱く。木魅は賜睽し、山精は妖孽す。  
 況んや復た風雲感ぜず、羈旅帰る無きをや。未だ葛を採る能わず、還つて薇を食らう成す。窮巷に沈淪し、荆扉に無没し、既に搖落  
 を傷み、弥いよ変衰を嗟く。淮：

11月25日正午必着

戴癭銜瘤藏穿抱穴  
木魅暘睽山精

癭を戴き瘤を銜み、穿を藏し穴を抱く。木魅は暘睽し、山精は（妖孽す。）

貞山要  
而半折

山腰に頓れて半折す。

初唐 褚遂良・枯樹賦

褚遂良は隋の開皇十六年（五九六）杭州錢塘の生まれで、字は登善。父の褚亮は唐の太宗に仕え、秦府十八学士の一人として活躍した人物で、遂良はその次子。父の同僚であった歐陽詢・虞世南とともに初唐の三大家として並び称されているが、二人とは約四十歳ほどの差があり、師と仰ぐ虞世南の後継者として父と同じく太宗に重用された。

褚遂良の人柄は、品行方正にして硬骨。高宗の代になり、尚書右僕射にまでのぼりつめたが、その性格がゆえに則天武后を皇后にしようとした高宗を諫めたことよって左遷され、晩年は愛州（現在のベトナム）に遷され、唐の顯慶三年（六五八）にこの地で没した。六十三歳。

枯樹賦は北周の庾信の撰によるものを褚遂良が書いたものと伝えられている。彼の書は虞世南に学び、歐陽詢に影響を受け、王羲之に傾倒しつつ、やがて独自の書風へと昇華させていったと言われるが、この枯樹賦に見られる筆法の流麗さや点画・偏旁・収筆の変化は、実に細かく意匠を凝らした経意の書と言われている。（春濤）

※経意の書↓卒意の書



雨宮春聲先生書

みなみじゅうじ せい  
南 十字星

中学一年



菅井松雲先生書

かん えい つう ほう  
寛 永 通 宝

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



おお かわ  
大きな河

小学五年

藤井良泰先生書



ふ どう こころ  
不動の心

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



11月25日正午必着



いしだん

小学三年

細谷春誠先生書



クラス会

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

こ め 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

サ ラ ダ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

な も み じ が 見 事 で す	十 一 月 は 燃 え る よ う
---	---

小学五年

な っ て 大 地 を 流 れ る	山 に 降 っ た 雨 は 川 と
---	---

小学六年

に 秘 め ら れ て い る	生 命 の 神 秘 は 大 宇 宙
--------------------------------------	---

中 学

金 色 に 輝 や い て い た	霧 が 晴 れ た 山 々 は 黄
---	---

一般(級位)

霧 し も 柿 の 葉 深 く	葉 も そ 今 朝 の 露 も 新 ま ぬ
--------------------------------------	---

一般(段位)

おり立ちて今朝の寒さを 驚きぬ露しと柿の落葉深く(伊藤左千夫)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

の	ゆ
	う
あ	や
か	け
と	こ
ん	や
ぼ	け

幼年

び	た
く	い
	こ
村	が
ま	な
つ	り
り	ひ

小学一年

上	ム
で	サ
ね	サ
む	ビ
り	は
ま	木
す	の

小学二年

森	湖
が	は
色	ん
づ	の
い	づ
た	ナ
	の

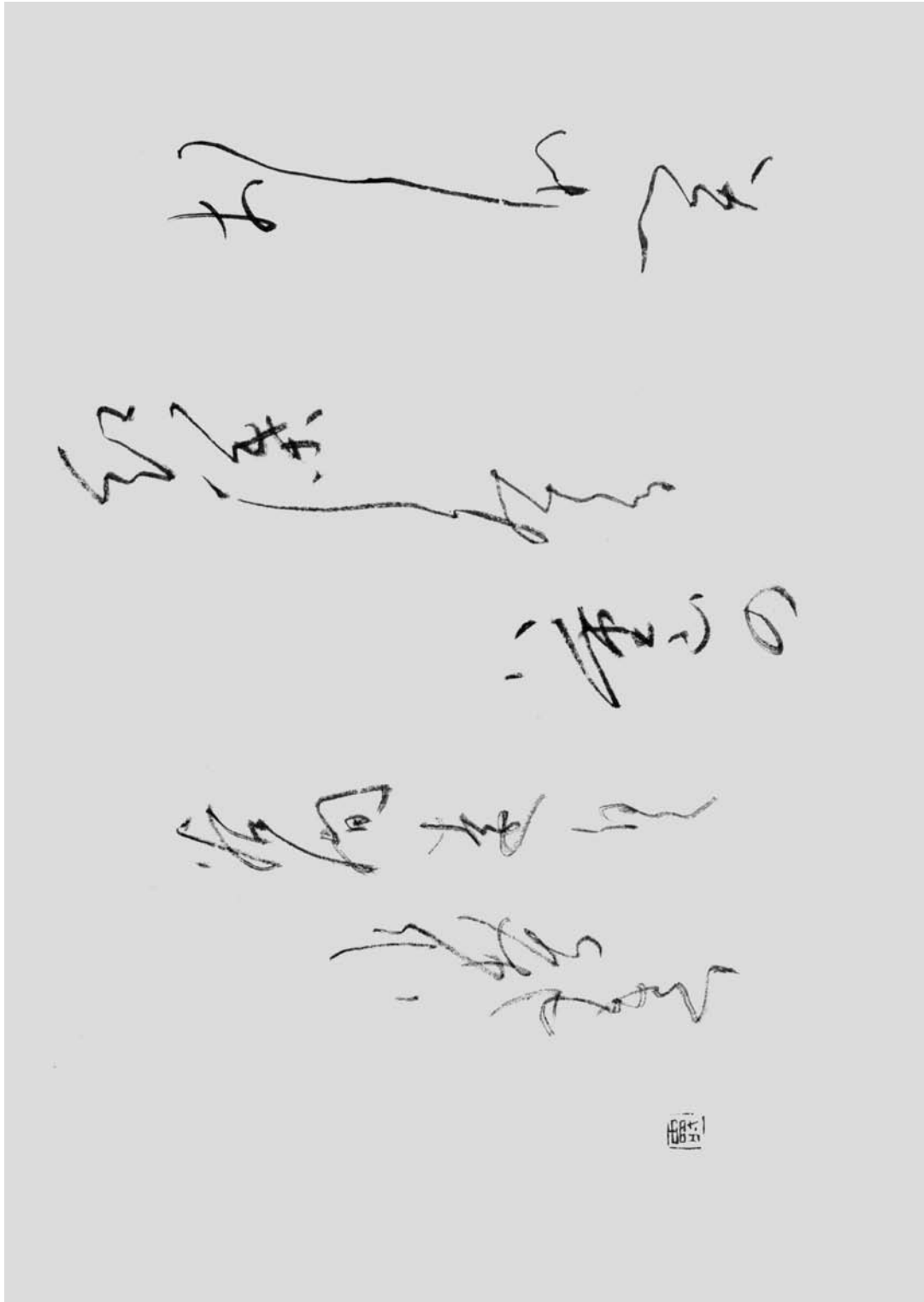
小学三年

も	日
か	ぐ
か	れ
や	前
い	の
て	湖
見	は
え	も
る	っ
	と

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



おしなべて  
 紅葉しみ照る  
 八重山の  
 谷間遠白く  
 水おちたぎつ  
 (伊藤左千夫)

岩本景楓先生書